消防だより

有田川町消防本部　☎52-5950
吉備金屋消防署　☎52-5950
清水消防署　☎25-1243

今年の出動等（累計）

火災……………１２件
救急…………１０５９件
救助…………１０件
（平成25年10月31日現在）

暖房器具からの出火に注意

これからの季節、寒さも厳しくなり、暖房器具など火を取り扱う機会が多くなります。取扱説明書などをよく読み安全な取扱い方法や火災を防ぐポイントを確認し、暖房器具による火災や事故を防ぎましょう。

■暖房器具からの火災の主な原因

熱源に「可燃物が接触する」・「可燃物が落下する」、近くに置いていたスプレー缶などが破裂してガスに「引火する」、石油ストーブなどを「使用中給油する」などがあります。

どれも使用時のちょっとした不注意により火災が発生してしまうものばかりです。

■火災を防ぐポイント

○ストーブの上で洗濯物を乾かしたり、周囲に燃えやすい物やスプレー缶等を置かない。

○カーテンなどがストーブに接触しないようにする。

○ストーブの近くでスプレーなどの引火の危険があるものは使用しない。

○給油時は必ず消火し、火が消えたことを確かめてから給油する。

カートリッジタンク式のものは、給油後、タンクのふたを確実に締める。

○就寝時や外出時は、必ず火を消す

急性アルコール中毒

年末年始にかけては、クリスマスや忘年会、新年会など飲酒の機会が増え、急性アルコール中毒を起こす可能性が高いと予想されます。

通常飲酒するとほろ酔い状態から、酩酊・泥酔・昏睡状態という順で、徐々に血中アルコール濃度が上昇し、足元がふらついたり吐き気などの症状が出てくるため、自分自身である程度コントロールできます。

通常、飲酒開始から血中アルコール濃度の上昇までには時間差があり、飲酒後30分～60分程度の時間がかかります。ところが、大量の酒を短時間に摂取すると血中アルコール濃度が急激に上昇し、酔っているという自覚なしに危険な状態になり、死に至る事もあります。

■危険な状態

・自分ひとりで立てない。
・声をかけても、身体をたたいても反応が鈍い。
・飲み始めから一時間以内で酔いつぶれている。

■応急処置

・呼吸が無い場合は、心肺蘇生法を実施しましょう。
・毛布などで保温しましょう。
・呼吸はしているが呼びかけ等に反応しない場合は、吐いたものがのどに詰まらないように体を横向きに寝かせ、ベルトや衣服など体を締め付けているものは緩めましょう。もしも、吐いた場合はタオルなどでぬぐいましょう。

自分の適量を知り、短時間の大量の飲酒（イッキ飲みなど）は絶対に止めましょう。また、飲酒の無理強いはせず、楽しいお酒を飲みましょう。

◎消防本部・吉備金屋消防署
庁舎移転のお知らせ

新住所
〒643-0811
有田郡有田川町庄1042番地
（有田川町プラスチック収集場北側）
※平成25年12月24日に業務を開始します。

あなたの命と財産を守るため　付いていますか？　住宅用火災警報器
「法律で全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられています。」